

新潟発！災害発生時「食の安心を！」はんぶん米

2010年7月1日

関係各位

有限会社エコ・ライス新潟



NICO 防災研 番外編 第3弾！

長岡造形大学で約160名の学生に中越大震災から誕生した防災用品開発についてプレゼン！

最初に「はんぶん米」の開発経緯をプレゼン。学生の熱気に答えるべく力みすぎて予定時間を大幅にオーバー。



学生をけが人に見立てて「レスキューボード」で運んでみる。紙製で軽くとも強度が抜群！びっくり！

○中越大震災の時に中学生だったデザイナーの志望の大学2年生に災害を語る○

長岡造形大学澤田雅浩准教授（都市計画・都市防災）は、NICO「防災研」がスタートしたときのコーディネーターで、安達紙器工業、エコ・ライス新潟は災害について教えてもらいました。今回、澤田先生の呼びかけで「空間安全論」の講義で減災に取り組む企業の開発実例を学生に話しました。真夜中にワールドカップの日本の試合があり、学生・講師役ともに眠い目をこすりながら、予定時間をオーバーして熱く熱く語りました。中越大震災のニーズから誕生した商品群の開発秘話は、デザインを志す学生の参考になればと願います。

次回の防災研番外編は、首都圏の自治体の大掛かりな防災訓練に参加し啓発普及の予定です。



避難所での活躍した「避難所用簡易更衣室&授乳室」を組み立てる建築・環境デザイン学科の学生。指導は安達紙器工業の小林弘さん。



通常組み立てるのに2名で15分かかりますが、学生3名で7分にて完了。さすが！！災害発生時のボランティアでも十分に活躍できる！！



授業終了後も学生が製品について熱心に質問&見学。普段の生活では目にする事のない防災用品に興味津々。段ボールの奥深さを知る。



最後は分解までお手伝い。手軽に組立て収納できることを体験。被災者の意見を取り入れたデザインは参考になったはず。

【 問合せ先：(有)エコ・ライス新潟 豊永有(トヨナガユキ) 】

〒954-0181 新潟県長岡市脇川新田町字前島 970-100



TEL 0258-66-0070 FAX 0258-66-0447

e-mail eco-net@nekonet.ne.jp

HP <http://eco-rice.jp/> 幻の白藤 HP <http://www.rice-shirafuji.com>